



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 日本ヒューム株式会社

コード番号 5262 URL <http://www.nipponhume.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 野村 静夫

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 石井 孝雅

TEL 03-3433-4113

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	22,332	10.6	1,731	98.4	1,982	136.0	1,260	155.6
24年3月期第3四半期	20,190	9.2	872	△4.3	839	△21.9	493	△20.5

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 1,595百万円 (177.6%) 24年3月期第3四半期 575百万円 (△26.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第3四半期	47.58	—
24年3月期第3四半期	18.86	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	38,722	23,546	60.4
24年3月期	36,807	22,233	60.1

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 23,405百万円 24年3月期 22,105百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期	—	—	—	10.50	10.50
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	10.50	10.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	29,000	4.6	1,900	60.8	2,000	61.7	1,300	78.5	49.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区分することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	29,347,500 株	24年3月期	29,347,500 株
25年3月期3Q	2,851,211 株	24年3月期	2,849,195 株
25年3月期3Q	26,496,928 株	24年3月期3Q	26,152,379 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、東日本大震災からの復興需要等、一部に明るい兆しが見られたものの、欧州債務危機や世界的な景気の下振れ懸念等により、先行き不透明な状況が続きました。

当社関連のコンクリート製品業界におきましては、需要は概ね前年並みの水準で推移しました。

このような状況下で当社グループは、平成24年度からの中期経営計画『All Japan-90』の基本方針である安定的利益と持続的成長の確保に向けて鋭意取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の受注高は、前第3四半期連結累計期間と比べ7.6%増加の233億7百万円、売上高は前第3四半期連結累計期間と比べ10.6%増加の223億32百万円となりました。

損益につきましては、売上の増加や業務効率化に努めたこと等により、営業利益は前第3四半期連結累計期間と比べ98.4%増加の17億31百万円、持分法による投資利益が大幅に増加したこと及び為替差損が減少したこと等により、経常利益は前第3四半期連結累計期間と比べ136.0%増加の19億82百万円、四半期純利益は前第3四半期連結累計期間と比べ155.6%増加の12億60百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## ①コンクリート製品事業

当第3四半期連結累計期間におけるコンクリート製品事業の受注高は、パイルの受注が増加したこと等により、前第3四半期連結累計期間と比べ6.7%増加の161億10百万円、売上高は、プレキャスト製品等の売上が増加したこと及び香港をはじめとする海外売上が増加したこと等により、前第3四半期連結累計期間と比べ7.6%増加の146億89百万円、セグメント利益（営業利益）は、前第3四半期連結累計期間と比べ275.8%増加の8億13百万円となりました。総売上高構成比は65.8%であります。

## ②工事事業

当第3四半期連結累計期間における工事事業の受注高は、杭打ち工事の受注が増加したこと等により、前第3四半期連結累計期間と比べ9.8%増加の70億1百万円、売上高は、マンホール耐震化工事の売上が増加したこと等により、前第3四半期連結累計期間と比べ19.8%増加の63億83百万円、セグメント利益（営業利益）は、前第3四半期連結累計期間と比べ64.4%増加の4億73百万円となりました。

総売上高構成比は28.6%であります。

## ③不動産開発事業

当第3四半期連結累計期間における不動産開発事業の売上高は、賃貸用不動産収入がやや減少したことから、前第3四半期連結累計期間と比べ2.7%減少の8億58百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメント利益（営業利益）は、前第3四半期連結累計期間と比べ7.2%増加の3億69百万円となりました。

総売上高構成比は3.8%であります。

## ④その他

当第3四半期連結累計期間におけるその他の受注高は、脱臭器の受注が増加したこと等により、前第3四半期連結累計期間と比べ7.3%増加の1億94百万円、売上高は、下水道関連工事用機材レンタル収入及び脱臭器の売上が増加したこと等により、前第3四半期連結累計期間と比べ22.6%増加の4億円、セグメント利益（営業利益）は、前第3四半期連結累計期間と比べ225.2%増加の74百万円となりました。

総売上高構成比は1.8%であります。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比べ19億14百万円増加し、387億22百万円となりました。これは、流動資産において現金及び預金が10億23百万円、受取手形及び売掛金が9億65百万円、それぞれ増加したこと等によるものであります。

また、負債の部は前連結会計年度末と比べ6億1百万円増加し、151億75百万円となりました。これは、流動負債において支払手形及び買掛金が5億53百万円増加したこと等によるものであります。

純資産の部は前連結会計年度末と比べ13億13百万円増加し、235億46百万円となりました。これは、利益剰余金が9億78百万円、その他有価証券評価差額金が2億96百万円、それぞれ増加したこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績見通しにつきましては、平成24年11月13日付「平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」で発表した通期の業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,981,454	6,004,867
受取手形及び売掛金	10,966,500	11,932,132
商品及び製品	1,643,612	1,790,200
原材料及び貯蔵品	529,031	541,568
その他	831,827	573,197
貸倒引当金	△20,608	△13,842
流動資産合計	18,931,816	20,828,124
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,451,277	3,318,148
土地	3,593,273	3,592,571
その他(純額)	745,800	720,589
有形固定資産合計	7,790,351	7,631,309
無形固定資産		
投資その他の資産	104,276	99,748
投資有価証券	9,137,725	9,595,901
その他	1,048,408	770,781
貸倒引当金	△204,963	△203,720
投資その他の資産合計	9,981,170	10,162,962
固定資産合計	17,875,797	17,894,020
資産合計	36,807,614	38,722,144
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,054,513	8,607,734
短期借入金	1,439,866	1,487,840
未払法人税等	378,443	367,590
賞与引当金	150,803	—
その他	1,196,547	1,245,350
流動負債合計	11,220,173	11,708,515
固定負債		
退職給付引当金	1,677,802	1,702,329
役員退職慰労引当金	129,987	116,587
環境対策引当金	24,797	24,797
その他	1,521,324	1,623,088
固定負債合計	3,353,911	3,466,802
負債合計	14,574,085	15,175,317

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,251,400	5,251,400
資本剰余金	4,749,080	4,749,229
利益剰余金	11,488,144	12,466,881
自己株式	△711,135	△711,988
株主資本合計	20,777,488	21,755,522
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	429,938	726,499
為替換算調整勘定	897,660	923,797
その他の包括利益累計額合計	1,327,599	1,650,296
少数株主持分	128,441	141,007
純資産合計	22,233,529	23,546,826
負債純資産合計	36,807,614	38,722,144

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	20,190,744	22,332,062
売上原価	16,748,889	17,957,069
売上総利益	3,441,855	4,374,992
販売費及び一般管理費	2,569,293	2,643,487
営業利益	872,562	1,731,505
営業外収益		
受取利息	469	487
受取配当金	88,474	77,287
持分法による投資利益	—	114,179
受取技術料	50,508	71,543
その他	65,346	72,689
営業外収益合計	204,798	336,187
営業外費用		
支払利息	20,945	23,451
持分法による投資損失	7,854	—
為替差損	169,481	25,933
その他	39,089	35,800
営業外費用合計	237,371	85,185
経常利益	839,988	1,982,506
特別利益		
受取保険金	10,748	—
その他	504	—
特別利益合計	11,252	—
特別損失		
減損損失	696	—
固定資産除却損	1,306	2,646
その他	—	400
特別損失合計	2,003	3,046
税金等調整前四半期純利益	849,238	1,979,459
法人税、住民税及び事業税	394,708	675,941
法人税等調整額	△47,751	30,244
法人税等合計	346,956	706,185
少数株主損益調整前四半期純利益	502,282	1,273,274
少数株主利益	9,012	12,585
四半期純利益	493,269	1,260,688

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	502,282	1,273,274
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△150,577	228,789
為替換算調整勘定	118,774	26,136
持分法適用会社に対する持分相当額	104,535	67,771
その他の包括利益合計	72,732	322,697
四半期包括利益	575,014	1,595,971
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	566,001	1,583,385
少数株主に係る四半期包括利益	9,012	12,585

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	コンクリート 製品事業	工事業	不動産開発 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	13,653,978	5,328,472	881,488	19,863,938	326,805	20,190,744	—	20,190,744
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14,261	—	26,763	41,024	6,341	47,366	△47,366	—
計	13,668,239	5,328,472	908,251	19,904,963	333,147	20,238,111	△47,366	20,190,744
セグメント利益	216,487	288,264	344,860	849,612	22,949	872,562	—	872,562

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、スポーツ施設運営事業、環境関連機器販売事業、リース事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	コンクリート 製品事業	工事業	不動産開発 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	14,689,969	6,383,470	858,056	21,931,496	400,566	22,332,062	—	22,332,062
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15,555	—	21,875	37,431	347	37,778	△37,778	—
計	14,705,525	6,383,470	879,931	21,968,927	400,913	22,369,840	△37,778	22,332,062
セグメント利益	813,520	473,784	369,578	1,656,883	74,621	1,731,505	—	1,731,505

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、スポーツ施設運営事業、環境関連機器販売事業、リース事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。